

『 第一回 地域連携推進会議 』会議録		塾長	補佐
(メンバー)	月 日	令和 8 年 1 月 16 日	
下記を参照	場 所	管理棟・職員室	
	記録者	S 職員	
<p>1、開会挨拶</p> <p>①塾長挨拶 ※別紙資料参照</p> <p>・厚労省からの通知、地域と福祉施設との関わりに関する事</p> <p>2、出席者確認、紹介</p> <p>①利用者の代表者～興郷塾自治会代表：S 様</p> <p>②利用者家族の代表～家族会会長：A 様</p> <p>③地域住民の代表：K 区長：K 様</p> <p>④福祉事業に知見のある方：W 事業所施設長 N 様</p> <p>⑤行政の代表者：O 市福祉部福祉課 O 様</p> <p>・興郷塾 施設長 M</p> <p>・興郷塾 施設長補佐 K</p> <p>(・興郷塾 施設入所支援部長 F ・生活介護部長 S)</p> <p>3、施設見学</p> <p>・利用者の現状（日課や生活環境）、及び施設内の構造について説明</p> <p>4、報告及び意見交換</p> <p>・施設の概要について ※別紙資料参照～施設概要</p> <p>・利用者の日常生活の様子について ※利用者名簿参照</p> <p>男性平均年齢 64.7 歳、女性平均年齢 66.5 歳、障がい支援区分平均 4.8</p> <p>日中活動について</p> <p>AM：散策・カラオケ・軽スポーツ・生産活動（回進堂箱折り、リサイクル）</p> <p>PM：主には入浴対応</p> <p>健康管理に関しては必要に応じて（定期・臨時・緊急）通院対応を行っている。</p> <p>Q、通院対応に関しては主に支援員が対応しているのか？</p> <p>A、基本的には常勤看護師で対応行うが、本人の意向（都合）・職員体制により担当支援員が対応することもある。また、緊急対応の場合は、塾長や補佐など、役職問わず対応している現状。</p>			

・虐待、事故、ヒヤリハット報告について ※別紙資料参照

事故報告は今年度 12 件～年々増加傾向にある。

Q、転倒が多い要因は？建物構造？利用者の身体機能的なものなのか。

A、構造的な要因が最も大きいですが、加齢によるもの（身体機能の低下）・障害によるもの（情緒面）も要因としてある。また、利用者からの意見として、「階段が怖い」との声も多くある。対応策として防犯カメラを設置して、転倒の状況は検証を行い、根本的な問題の解決には至っていない。衝撃吸収マット（クッションマット）の設置や、昇降機の検討も行ったが、設置までには至っていない。

Q、ヒヤリハットの行方不明とは？令和 4 年に 1 件ある。どういった内容か。

A、飛び出しのこと。過去（十数年前）であれば、公共交通機関を利用しての離脱、2～3 日捜索した経緯もあったが、現在は高齢化により、近辺（周辺施設・民家）で見つかるケースが大半。

・運営適正化委員会、第三者委員会について ※別紙資料参照

ご家族から 2 件の苦情受付あり、対応している。（令和 6 年度分）

・利用者の意思決定、移行確認について（アンケート等） ※別紙資料参照

利用者のニーズ把握～わたしの希望する暮らし（年 2 回に聞き取りを実施）

利用者満足度調査（毎年）～結果に基づいた対応策の提示を行っている。

・支援者の現状について

現在、21 名の支援員（パート支援員 5 名含む）で勤務しているが、夜勤や遅番・早番勤務のできる職員となると限定的で、女性 5 名・男性 6 名で交代勤務を組んでいる。疲弊している現状。募集しても働き手の確保に苦慮している。福祉業界に関わらず言えることだが、人材不足が深刻化している。

Q、21 名のうち、パートが 5 名とのことだが、計算が合わない。

A、家庭の都合でフルタイム（正規職員）であっても、平日日勤帯のみの勤務、夜勤ができないなど、個々の働き方により、勤務に縛りがあり厳しい実情になっている。どのように人材を確保していくかは今後の大きな課題。

・その他意見

Q、親なき後の保護者に関する件。家族構成が利用者 1 人になった場合は？最期まで、サービスの継続は可能なのか？

A、親族が保護者（身元保証）をできない場合は、後見人を立てる等の対応をしている。利用者 1 人だから（親族がないから）とサービスが受けられないという事はない。

5、その他

○第二回地域連携推進会議に日程について（年1回の実施）

日時：令和8年度、秋頃を予定としたい。

6. 閉会挨拶

○第二回会議の開催に伴い、事前に質問や意見等ありましたら、合わせて資料を準備しますので、ぜひとも事前のご意見お待ちしております。

以上